

「宮崎市新庁舎建設基本計画（案）」に対するご意見の概要及び本市の考え方について

「宮崎市新庁舎建設基本計画」を策定するにあたり、令和6年2月19日（月）から令和6年3月15日（金）までパブリックコメントを実施しました。その結果、20件（20名）のご意見をいただきました。提出されたご意見の概要及び本市の考え方については、以下のとおりです。

No	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
1	提案：本庁舎屋上または駐車場屋上へのヘリポートの常設。理由：防災機能の強化。地震や津波の影響で市役所周辺の交通網が甚大な被害を受けた場合に人の移動や物資の運搬が難しいことも予想されます。その際、空路が確保できれば孤立を防ぎ防災機能を強化する手段となると思います。	市役所近隣では大淀川河川敷と県防災庁舎にヘリポートが整備されていますので、新庁舎にはヘリポートを設置する想定はございません。なお、緊急時には、道路や公園等に着陸することも想定しております。
2	異常気象(スーパー台風)対策はなされているか？また、弾道ミサイル対策の為の地下施設は予定されているか？	現時点で想定される最大規模の洪水や高潮などに対応できるよう、敷地の嵩上げなどの対策を行うこととしております。なお、地下施設を設置する予定はございませんが、防災対策で最も高いレベルの施設や設備となるよう検討してまいります。
3	市民のニーズ対応の為、時代に対応の為、たくさんの課が出来たと思います。が、1つの庁舎に集約されておらず、駐車場も河川敷にある。とても不便です。	新庁舎については、本庁舎、第二庁舎、第三庁舎、第四庁舎に配置されている部署、及び清武総合支所にあります教育委員会を1箇所に集約することとしており、市民の皆様にとって利便性の高い庁舎を目指します。併せて、行政手続きのオンライン化をはじめとするDXの推進により、市民の皆様が庁舎を訪れなくても快適にサービスを受けられる便利な市役所を目指してまいります。 駐車場については、庁舎に近接した位置に立体駐車場の建設を予定しており、立体駐車場からは庁舎に接続通路でアクセスが可能となるよう計画を進めており、市民の皆様の利便性が向上するよう取り組んでいきます。
4	市役所周辺は通勤時間帯を中心に車両混雑が激しい。特に西から宮崎港方面県道は現在でも問題点が多い。今後現庁舎の解体、地盤整理、新庁舎建設が長期間に渡ることや、現在各所に分散されている関連部署の集約に伴う職員と管理車両の集中を考え合わせると交通量緩和対策、道路と信号のあり方に抜本的な改革案が必須と考えている。現時点でどの様な対策が盛り込まれているのか知りたい。	昨年度策定しました基本構想におきまして、庁舎の前面道路であります松橋通りに関しては、将来にわたって交通量が減少するという調査結果となりました。しかしながら、現状におきまして、時間帯により混雑している状況も見受けられますことから、今後、出入口の車線の分離や信号現示（サイクル）の最適化などについても検討してまいります。
5	現在3箇所に分かれているので、1箇所に纏めて便利にして欲しい。	新庁舎については、本庁舎、第二庁舎、第三庁舎を集約して1棟で建設することとしております。また、第四庁舎に配置されている部署、及び清武総合支所にあります教育委員会も集約することとしており、市民の皆様にとって利便性の高い市役所を目指して取り組んでいきます。

No	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
6	<p>都城のプレピカやNiQLL、日南のことことのような土日・平日関わらず、子どもを遊ばせる施設を新庁舎に設けてほしい。ユニバーサルデザインはありがたいが、子どもを連れて市役所に行く待ち時間がつらい。7ページのワンストップ窓口のイメージには、キッズスペースの記載があるが、こんな小さな一角で子どもを待機させておくのは難しい。子どもを連れてくるな、といているに等しい。地域の子育て支援センターは規模が小さく、他市に比べると宮崎市は遅れている。新庁舎内に、地域の子育て支援の中核となるような施設を設け、そこでも受付番号を確認できるような仕組みを作ることで、未来の宮崎市をつくっていく子育て世代に負担のない、むしろ積極的に市役所に足を運ぶような、新庁舎として欲しい。また、ライフサイクルコストでみれば、建築費などのインシヤルコストよりも、今後のランニングコストの占める割合が多くなると思うが、検討案では、そういったランニングコストによる比較が全くなされていないように思われる。今後、人手不足、エネルギー不足による光熱費や運営経費は年々増加する傾向にある。ライフサイクルコストはおおよそ建設（設計）時点で決まってしまう。これからの設計作業においては、きちんと将来を見据えた検討の実施を願いたい。最後に、新庁舎が、宮崎らしい、さすが宮崎市と思えるような施設になることを祈念します。</p>	<p>新庁舎については、宮崎市民プラザが隣接していることもあり、行政サービスの拠点としての機能を重視し、現時点では子ども向け施設との複合化は想定しておりません。しかしながら、総合窓口にはキッズスペースを設け、お子様連れの市民の皆様が快適に手続きができるように検討しておりまして、その規模や機能については、今後、基本設計において検討をしていきたいと考えております。併せて、行政手続きのオンライン化をはじめとするDXの推進により、市民の皆様が庁舎を訪れなくても快適にサービスを受けられる便利な市役所を目指してまいります。また、今後、立体駐車場や橘公園部分への民間機能の導入を検討していくこととしており、その中で子ども関連施設の導入の可能性についても検討してまいります。</p> <p>ランニングコストについては、宮崎市新庁舎建設基本計画（案）P31に記載しておりますように、約4億3千7百万円ほどの費用を見込んでおりまして、新庁舎の規模自体は大きくなりますが、現在の本庁舎、第二庁舎、第三庁舎の維持管理運営費とほぼ同程度になると試算しております。ライフサイクルコストをできるだけ圧縮するため、今後、設計段階において十分に検討してまいります。</p>
7	<p>市の計画案の機能②に匹敵する「誰もが利用できるユニバーサルデザイン」新しい宮崎市役所内に、神戸市役所のように食堂を作ると、職員も市民も観光客も助かるし、庁舎を利活用できるし、市のシンボルかつ憩いの場になります。神戸市役所は、タワーの展望フロアや食堂に、様々な人が来て賑わいます。宮崎市役所は素晴らしい川岸の景観があるので、庁舎は市長が言われている華美でない計画で、学食みたいな食堂でいいので、日替わり定食と麺類とコーヒー程度の負担のない規模で、心身共に多忙な職員が、タニタ食堂の例のようにヘルシーかつ健康的な食事が交替で取れると助かります。できれば市民や外部者の食事と仕切りや隣部屋で隔ててあると、職員は他の部署の人と交流できるコワーキングスペースとしても使えます。周辺に展望フロアの無い立地なので景観も新鮮で、高齢者や幼児や身体の不自由な人もバスで便利に行ける、宮崎市街と山河を見渡せる新スポットになり、避難所の炊き出しも可能になります。訪れて元気の出る人気の市役所は、宮崎市に移住したくなるイメージアップとなり、SDGs市役所です。長年の間、毎日コンビニや注文弁当やお惣菜や購入パンや外食で済ませている、多くの職員の心身の健康管理や交流促進もできます。</p>	<p>新庁舎への食堂機能の導入につきましては、基本計画で行った民間サウンディング型市場調査においては、運営における収益の確保が難しいとのご意見も多数ございましたが、今後、立体駐車場の建設や橘公園の有効活用という観点からも、食堂やカフェ等の民間機能の導入ができないか引き続き検討していきたいと考えております。また、最上階に議会機能を設置することとしており、市民や児童生徒等が議会を見学できるような方向性も視野に検討しておりますので、それにあわせて、大淀川を望む眺望をいかした工夫についても、検討してまいります。</p> <p>職員の職場環境については、職員同士が気軽に交流を図ることができるワークスペースの設置などを検討しており、改善を検討してまいりたいと考えております。</p>
8	<p>5つの基本方針のうち、「カーボンニュートラルの実現を牽引する庁舎」として、ZEB Ready認証取得を通じた環境負荷低減だけでなく、宮崎市産材の利用に関する方針に基づき、木材利用の推進による地球温暖化の防止や循環型社会の形成に大きく貢献する機能（役割）を備える機能を付加してほしい。</p>	<p>新庁舎につきましては、木質化等によるやすらぎやぬくもりのある快適な空間も必要であることから、地域産材の活用についても、今後検討してまいります。</p>
9	<p>有料でも構わないので職員駐車場を作って欲しい</p>	<p>市民優先の敷地面積の有効活用、建設および建設後の運営コストの最小化、公共交通機関の利用促進、環境負荷の低減などの観点から、職員駐車場を整備する計画はございません。</p>

No	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
10	<p>P2やP8において「誰もが快適に利用できる多様なニーズに対応したユニバーサルデザイン（UD）の庁舎とすること」としている。UDの視点から基本計画（案）をみると①「来庁歩行者の安全確保」について、p21の「図表3-6」をみると、市民プラザ、河川敷、立体駐車場、新庁舎に向かう車の流れの中を橘公園方面からの歩行者が通らなければならない。歩行者の安全確保のために「歩車道分離」することが必要です。②「駐車施設」について、高齢者や障害者、妊産婦、歩行が困難な人などのための駐車台数の確保や出入口に近接させること。雨天時の配慮をすることが必要です。③「出入口・受付」について、敷地外から庁舎出入口までの案内誘導や庁舎出入口からエレベーター(EV)、トイレ、各課等への案内誘導は、誰もがわかりやすいピクトグラムやひらがななどを使い、壁や床に大きく表示すること。また、たとえば視覚障害者は、スマホでGPSを使って音声誘導による移動が可能です。今後も障害者への情報提供等の方法はさらに進展すると考えられる。庁舎完成時には障害当事者等にとって最新のシステムとなるよう配慮をすることが必要です。④「EV」を利用するのは、高齢者や障害者だけではない。けがをした人や荷物を運ぶ人などのほか一般の人たちを含めてEVを利用する人たちは数多い。バリアフリー法で定める11人乗り（間口1400×奥行1350）では、電動車いす（W:700×L:1200）1台と数人しか乗れない。24人乗り（間口2000×奥行1750）程度以上とすることが望まれる。⑤「トイレ」について、p8男女一般トイレには親子トイレだけでなく、オストメイト設備や簡易型車いす便房を設けてほしい。車いす使用者が利用するのが多機能トイレだけだと車いす使用者が利用できないケースが増えている。また、視覚障害者には音声案内のほかレイアウトや設備規格の統一、聴覚障害者にとっては、災害時に知らせるフラッシュランプの設置が必要です。⑥「庁舎の避難計画」について、高齢者、障害者等の円滑な避難のための2方向避難や避難誘導、聴覚障害者や視覚障害者に対する情報提供の方法などの検討が必要です。⑦「その他」については、発作やパニックに対応する「カームダウン・クールダウン」の部屋を設けてください。盲導犬などの補助犬のためのトイレを設置してください。以上について、多様なニーズについて「誰一人取り残さない」市庁舎を整備するためには一方的に整備を進めるのではなく、基本設計や実施設計、工事の段階のそれぞれにおいて、障害当事者等の意見を聞きながら庁舎の整備に反映させることが必要だと考えます。</p>	<p>歩車分離や駐車場の配置、エレベーターなどの動線計画やサイン計画などは重要な視点であると考えていますことから、具体的な検討については、基本設計において、子ども、妊婦、子育て世代、高齢者、障がい者など誰もが快適に利用できる多様なニーズに対応したユニバーサルな庁舎とすることを旨とし、検討してまいります。また、基本設計を行う中で、節目節目でご意見をお伺いしながら、いただきましたご意見を踏まえて検討を進めてまいりたいと考えております。</p>
11	<p>宮崎市には、タワーor展望室がありません。都庁には都民のための展望室があります。是非市民の憩いの場として切に展望室の設置をお願い致します。</p>	<p>展望室については、最上階に議会機能を設置することとしており、市民や児童生徒等が議会を見学できるような方向性も視野に検討しておりますので、それにあわせて、大淀川を望む眺望をいかした工夫についても、今後、検討していきたいと考えております。</p>
12	<p>資料がわかりやすかったです。建物も華美にならず機能性、持続可能性を重視している点も賛同します。「誰ひとり取り残されない共生社会づくり」のために、市役所が多様な人々が安心して働き続けることができる組織のモデルとなってほしいです。具体的には、働く人が体調が悪くなった時などに一時的に休めるスペースなどがあると良いと思います。今後、市役所も様々な障害（メンタルヘルスに困難を抱える人も含む）のある方や病気（がんや難病など）の状態になった人と共に働いていくことが当たり前になると良いなと思います。「健常者」と呼ばれる人ばかりの中ではアイデアも限られてくると思います。様々な視点を持った人が安心して働けることが大切だと思います。市民のために現場で働く職員を大切に組織であってほしいです。よろしく申し上げます。</p>	<p>基本方針の「市民に快適なサービスを提供する庁舎」において、誰もが快適に利用できる多様なニーズに対応したユニバーサルな庁舎を掲げており、市民の方にとっても、働く職員にとっても快適に庁舎を利用できるよう新庁舎の整備に取り組んでおり、具体的な機能等については今後の基本設計において、節目節目でご意見をお伺いしながら、いただきましたご意見を踏まえて検討を進めることとしております。</p>

No	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
13	<p>駐車場棟案では、3層4段ですが、屋上も駐車場なのでしょうか。雄大な大淀川を見渡せる屋上公園を設置し、立体的な市民のいこいの場にしてほしい。</p>	<p>立体駐車場の屋上緑化については、整備や維持管理に多額の費用がかかる一方で、民間サウンディングにおいても目的がなければ屋上まで行って公園を利用することはしないとの意見を多数いただきました。敷地内に橘公園が隣接しておりますので、今回の新庁舎整備においても橘公園や市民プラザとの一体的な憩いの場として、新たな空間の創出を目指して取り組んでおり、引き続き検討してまいります。</p>
14	<p>いくら災害に強い建物を建設しても、その場所が、肝心な職員他関係者が、災害時に通えない場所にあれば、意味がないと思います。流石に堤防沿い、氾濫はしない高さにはなってきたとはいえ、被害にあいやすい場所に、かわりはないと思います。</p>	<p>新庁舎敷地に関しては、津波の浸水想定はありませんが、洪水や高潮による浸水が想定されるため、敷地の嵩上げなどを行うとともに、洪水や高潮を想定した参集のあり方について検討してまいります。</p>
15	<ul style="list-style-type: none"> ・新庁舎が出来るまでの移行期間での仮設窓口を含めて対応をしっかりシミュレーション等を通して進めてほしい。 ・保育施設などを含めて、子どもへの対応ができる施設を設けて職員の働き方を考えてほしいです。 ・図書館など学習スペースを設けて一般市民の集まれる場所を設置してほしいです。 ・こども食堂等飲食できる場所を設けて、人が集まりやすくなるようにしてほしいです。 	<p>仮庁舎における窓口対応につきましては、DXを活用した手続きの拡充や、市民が来庁することの多い部署は敷地内に残すため、宮崎市民プラザの一部を活用するなどの検討を進めているところであり、市民サービスの低下にならないよう検討してまいります。</p> <p>新庁舎については、宮崎市民プラザが隣接していることもあり、行政サービスの拠点としての機能を重視した庁舎を目指しており、現時点では、保育施設、図書館、食堂等との複合化は想定しておりませんが、今後、立体駐車場や橘公園部分への民間機能の導入を検討していくこととしており、その中で子ども関連施設や食堂・カフェ等の導入の可能性についても検討してまいりたいと考えております。</p>
16	<p>・窓口予約システム(ワンストップ窓口の対応について)</p> <p>①聴覚障害者、難聴者等、電話ができない方の予約について、どのように対応するのか、知りたい。</p> <p>現時点では、聴覚障害者は事前の連絡なく障害者相談室に来る。しかし、待ち時間が多い時は、待ち続けている状況である。もし、ワンストップ窓口でも上記の対応がなされない場合、ある程度の待ち時間があっても手続等の対応は可能なのか。</p> <p>②聴覚障害者の予約連絡方法は、全員違うので、FAX予約、メールの予約のほか、文章が書けない方は、動画による連絡(テレビチャットなど)ができるように計らってほしい。</p> <p>③上記のテレビチャットをする場合、タブレット端末による遠隔手話通訳の設置、つまり、宮崎市聴覚障害者協会(宮崎市聴覚障害者支援センター)と市役所にある障害者相談室に、連絡がスムーズに出来るようにしていきたい。</p> <p>④窓口に、文字情報伝達装置(タブレット使用)又は、音声文字表示版が出来る(多国語対応)の設置を希望した方が、各課の窓口にも対応できるメリットがある。</p> <p>窓口対応も含めて、視覚情報として、各階に電光表示板を設置した方が、災害によるアナウンスによる避難が出来るだけでなく、市役所のお知らせ等、多岐に渡り活用できるなどメリットが多いので設置を希望する。</p> <p>窓口対応に関しての意見です。宜しくお願いします。</p>	<p>新庁舎は、子ども、妊婦、子育て世代、高齢者、障がい者、外国人など、誰もが快適に利用できる多様なニーズに対応したユニバーサルな庁舎を目指しており、窓口の対応についても重要な視点でありますことから、今後、窓口の運用等については、いただいたご意見も踏まえ、庁内で議論しながら検討を進めてまいりたいと考えております。</p>
17	<p>1.新市役所内で津波が起きた時の避難場所と立体駐車場における避難の屋上活用は出来ないのでしょうか?2.窓口に手続きする時の呼び出しを目に見える情報電子版を聴覚障がい者にも分かるようにしてほしい。3.障がい者、高齢者に分かるような総合案内があったら良いと思う。</p>	<p>新庁舎敷地については、津波の浸水想定区域には含まれておりませんが、災害時の立体駐車場の屋上活用は一つの選択肢であると考えられます。</p> <p>また、新庁舎は、障がい者や高齢者、子ども、妊婦、子育て世代など誰もが快適に利用できる多様なニーズに対応した庁舎とすることを目指しておりますので、節目節目でご意見をお伺いしながら、いただきましたご意見を踏まえて検討を進めてまいりたいと考えております。</p>

No	ご意見	ご意見に対する本市の考え方
18	基本方針に「カーボンニュートラルの実現を牽引する庁舎」と定めており、また、「ゼロカーボンシティみやぎ」を宣言していることなどから、庁舎の木造化や木質化を希望します。	新庁舎につきましては、環境に配慮し、木質化等によるやすらぎやぬくもりのある快適な空間も必要であることから、地域産材の活用についても、今後検討してまいります。
19	新庁舎は機能性の良い、市民が使いやすい又職員が働きやすい環境になって欲しいと思います。行政サービスを提供するだけでなく、市民が気軽に訪ねられる場所にもなって欲しいと思います。市民の居場所の一つになるような環境・空間が出来れば良いと思います。食事提供の場、情報提供の場、くつろぎの場、等々是非御検討頂きたいと思います。	新庁舎の敷地周辺につきましては、隣接した位置に市民プラザがあり、建設予定の立体駐車場と橋公園と一体的な憩いの場として新たな空間の創出ができないか、立体駐車場の建設に併せて、民間施設の導入について、引き続き検討していきたいと考えております。
20	新庁舎建設に際し、一市民として切実に願うのは、重要な公文書をきちんと保存して将来の人々にも利用できるようにする方法と仕組みを考えてほしいという事です。基本計画(案)および参考資料を読ませていただきました。保存期間切れ公文書の廃棄と、これからの公文書作成は電子化を中心として、庁内のペーパーレス化を進めるという点が印象に残りました。ペーパーレス化は今後の市政運営のためにも必要だと思います。ただ、慎重に行ってほしいと考えます。特に、紙文書の現物の廃棄については議論を重ねて慎重に行うべきです。電子化にしても、デジタルデータは完全ではないという点(経年や災害時などでのデータの消失、将来的に起こりうるデジタル機器の表現の不確実性の問題 等)を考慮すべきです。来年度から市史編さんの事業がはじまります。これからの宮崎市に関係するすべての人のための事業だと個人的に捉えています。意義深い市史を作成するには、史料の収集が必要です。しかし、前回の昭和の市史編さん時には、火災等で公文書が焼失・散逸したために史料の収集や原稿の執筆が困難であったと聞きました。私が公文書の廃棄を慎重に行ってほしい理由は、昭和の市史編さんの時の様な事態が起きてほしくないからであり、市民の大切な財産である公文書を、将来の人々にも大切に利用してほしいからです。ただ、基本計画(案)を読んでいると、保存期間が切れた文書は廃棄が可能である、という文言が出てまいります。廃棄ありきで進められていくように感じてしまい、これから市史を作成するといった視点、重要な記録は保存しなければならないという視点が無いように、個人的には感じてしまいました。また、検討資料の方に、保存期間が設定されていない文書が存在するがそれらは廃棄可能である、という様な文言がありました。その様な文書も、なんらかの必要性(職員の執務参考の観点など)があって存在する可能性があり、無暗に廃棄してしまうと市民サービスに影響が出かねないように思います。文書管理の部局が中心となって、庁内全体で記録の重要性を再度確認する必要があるように考えます。そのうえで、保存期間を適切に設定するなどの文書管理の徹底を行い、期間切れの文書は歴史的公文書等として重要な文書は保存する、もしくはデジタル化することで現物を廃棄する、といった評価選別の仕組みを取り入れて、将来にわたって記録の利用がおこなえるように体制を整えてほしいと考えます。公文書は、宮崎市の役所やそこに住む人々がどのように生きていたかを伝える、大切な記録です。この30年あまりだけを振り返ってみても、シーガイアやグリーン博みやぎ99といった観光イベントや、平成の合併、口蹄疫、台風、コロナ禍といった出来事が思い出されます。当時の記録である公文書が消失する事態だけは避けてほしいのです。いろいろと課題があるなかで、難しい部分もあるのかもしれませんが、どうぞ、ご検討のほど、よろしくお願いいたします。	公文書の保存につきましては、市民の皆様の利便性の向上と職員の業務効率性を念頭に、DXの推進を図る中で、紙文書のペーパーレス化について検討を進めていくこととしておりますが、現在ある歴史資料文書や紙で保存してある文書の取り扱いについては、別途、保存のあり方について検討してまいります。